

令和元年度

静岡市井川財産区会計
歳入歳出決算審査意見書

静岡市監査委員

02 静 監 第 751 号
令和 2 年 9 月 3 日

静岡市井川財産区管理者
静岡市長 田辺 信宏 様

静岡市監査委員 村 松 眞
同 白 鳥 三和子
同 山 根 田鶴子
同 山 本 彰 彦

令和元年度静岡市井川財産区会計歳入歳出決算審査意見の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 2 項の規定により、令和元年度静岡市井川財産区会計歳入歳出決算及び関係書類を静岡市監査基準（令和 2 年静岡市監査委員告示第 1 号）に基づいて審査したので、次のとおり意見を提出します。

記

1 審査の対象

- (1) 令和元年度 静岡市井川財産区会計歳入歳出決算
- (2) 令和元年度 静岡市井川財産区会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和元年度 実質収支に関する調書
- (4) 令和元年度 財産に関する調書

2 審査の期間

令和 2 年 6 月 15 日から令和 2 年 9 月 2 日まで

3 審査の方法

静岡市井川財産区会計歳入歳出決算書及び附属書類について、会計管理者及び財産区所管の諸帳簿と照合し、計数の確認を行ったほか、予算の執行状況について資料の提出を求め、これを審査した。

4 審査の結果

静岡市井川財産区会計歳入歳出決算書等は、関係書類と符合し、計数は正確であると認められた。また、予算の執行についてもおおむね適正であると認められた。

5 決算の概要

歳入

(単位 千円・比率 %)

| 区 分 | 予算現額 | 調 定 額 | 収入済額 | 執行率 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-------|--------|--------|------|-------|-------|-------|
| 令和元年度 | 7,000 | 6,284 | 6,284 | 89.8 | 100.0 | — | — |
| 平成30年度 | 7,988 | 7,853 | 7,853 | 98.3 | 100.0 | — | — |
| 比較増減 | △988 | △1,568 | △1,568 | △8.5 | 0.0 | — | — |
| 増 減 率 | △12.4 | △20.0 | △20.0 | — | — | — | — |

歳出

(単位 千円・比率 %)

| 区 分 | 予算現額 | 支出済額 | 執行率 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 歳入歳出差引額 |
|--------|-------|-------|------|--------|--------|---------|
| 令和元年度 | 7,000 | 5,529 | 79.0 | — | 1,470 | 754 |
| 平成30年度 | 7,988 | 3,495 | 43.8 | — | 4,492 | 4,357 |
| 比較増減 | △988 | 2,034 | 35.2 | — | △3,022 | △3,602 |
| 増 減 率 | △12.4 | 58.2 | — | — | △67.3 | △82.7 |

- (1) 収入済額は、前年度に比べ 156 万円 (20.0%) 減少していた。これは主に、基金繰入金が 152 万円増加したものの、繰越金が 325 万円減少したためである。
- (2) 支出済額は 552 万円で、予算現額に対する執行率は 79.0%となっていた。これは主に、予備費の不執行によるほか、議会費において、議員の視察研修を実施しなかったことによるものである。
- (3) 支出済額は、前年度に比べ 203 万円 (58.2%) 増加していた。これは主に、公有林野官行造林契約に基づいて国が有していた持分の一部を購入し、直営により森林経営を行うこととしたことによるものである。

6 決算収支の状況

(単位 千円)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成 30 年度 | 比較増減 |
|----------------|-------|----------|--------|
| A 歳入決算額 | 6,284 | 7,853 | △1,568 |
| B 歳出決算額 | 5,529 | 3,495 | 2,034 |
| C 形式収支 (A - B) | 754 | 4,357 | △3,602 |
| D 翌年度へ繰り越すべき財源 | — | — | — |
| E 実質収支 (C - D) | 754 | 4,357 | △3,602 |

7 財産に関する調書

(1) 公有財産の状況は、次のとおりである。

土地

(単位 m²)

| 区 分 | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 | |
|-----|---------|---------------|----------|---------------|
| 土 地 | 宅 地 | 1.02 | — | 1.02 |
| | 山 林 | 36,724,658.78 | — | 36,724,658.78 |
| | 計 | 36,724,659.80 | — | 36,724,659.80 |

山林

(単位 面積 m²・蓄積量 m³)

| 土 地 の 権 利 の 区 分 | 土地面積 | 立木の推定蓄積量 | | |
|--------------------|---------------|-------------|--------------|--------------|
| | 決算年度末 現在高 | 前年度末 現在高 | 決算年度中 増減高 | 決算年度末 現在高 |
| 所 有 | 36,724,658.78 | 681,217.19 | 8,669.41 | 689,886.60 |
| 直 営 | 19,173,660.78 | 489,917.64 | 5,567.69 | 495,485.33 |
| 分 収 | 11,045,399.00 | 191,299.55 | 3,101.72 | 194,401.27 |
| 貸 付 | 6,505,599.00 | — | — | — |

立木の推定蓄積量は、前年度に比べて 8,669 m³増加していた。これは主に、発育による自然増によるものである。

(2) 基金の保有状況は、次のとおりである。

| 井川財産区運営基金 | | (単位 千円) | |
|-----------|---------|----------|----------|
| 区 分 | 前年度末現在高 | 決算年度中増減高 | 決算年度末現在高 |
| 現 金 | 262,018 | △1,528 | 260,490 |

基金の決算年度末現在高は、前年度に比べて152万円減少していた。これは、基金の取崩しによるものである。

(注) 数値は、次のとおり表示し、又は算出しているため、差額、合計等が一致しない場合がある。

(1) 文中の金額は原則として万円単位、表中の金額は千円単位で表示し、いずれも単位未満は切り捨てである。

(2) 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までとした。ただし、99.95%以上100%未満のものは99.9%とした。

(3) 差額等の数値が0のもの又は該当数値はあるが単位未満のものは、「0」、「0.0」で表示した。

(4) 該当数値がないもの、算出不能なもの又は1,000.0%以上の増減率等の無意味なものは、「-」で表示した。

(5) 減数又は負数は、「△」で表示した。